

ライフステージ

1. ライフイベント

会社生活

- ・ 新人研修
- ・ 仕事に慣れる
- ・ 仕事の適性
- ・ 仕事のノルマ
- ・ 配置転換
- ・ 職場の人間関係

- ・ 昇進、昇格
- ・ 責任の変化
- ・ 後輩、上司との板ばさみ
- ・ オーバーワーク
- ・ 転勤
- ・ 海外赴任

- ・ 昇進、昇格
- ・ 責任の変化
- ・ 仕事の成果、目標
- ・ 上司との人間関係
- ・ オーバーワーク
- ・ 単身赴任

- ・ 出向
- ・ 転職
- ・ 重責ポスト就任
- ・ ジェネレーションギャップ
- ・ 単身赴任
- ・ 役職定年

- ・ 定年
- ・ 再就職
- ・ 引退
- ・ ボランティア活動
- ・ 地域社会へのかかわり
- ・ 生涯学習

家庭生活

- ・ マイカー購入
- ・ 恋愛、失恋
- ・ 結婚、共働き
- ・ 家事分担に伴う問題

- ・ 長子誕生
- ・ 子どもの病気
- ・ 嫁姑のトラブル
- ・ 夫婦対立
- ・ 引っ越し
- ・ 妻の退職
- ・ 子どもの小学校入学

- ・ マイホーム取得
- ・ 家計の悪化
- ・ 妻の再就職
- ・ 子どもの中学、高校進学
- ・ 子どもの問題行動（不登校、いじめ）
- ・ 教育をめぐる夫婦の対立

- ・ 生活習慣病
- ・ 子どもの大学進学
- ・ 子どもの就職、自立、結婚
- ・ 親の世話
- ・ 親の死

- ・ 年金生活
- ・ 初孫誕生
- ・ 金婚式
- ・ 旅行
- ・ 加齢に伴う病気
- ・ 入院生活
- ・ 伴侶の死

2. キャリアレインボー

コロンビア大学のドナルド・スーパー教授は、一生を通して、人はいかに多様な役割を果たし、それぞれの役割が相互に関連し合っているかを説明するために、ライフキャリアレインボー・モデルを提示しました。

3. 意思決定モデル

キャリアコンサルタントのハリィ・ジェラッドは、職業選択についての意思決定のモデルを提唱しました。

1)	選択可能な行為、それから生じる結果と、結果が生じる確率を資料に基づいて予測する。
2)	結果の望ましさを評価する。
3)	価値基準に当てはめて、目的にかなうものを選択する

4. キャリア・アンカー

心理学者のエドガー・シャインは、個人が選択を迫られた時に、その人が最も手放したくない欲求、価値観、能力などをまとめて、キャリア・アンカーを提示した。

1)	特定の分野で能力を発揮することを大切にする。
2)	対人関係を処理したり集団を統率する能力や権限を行使して、組織の期待に応えることを大切にする。
3)	経済的安定を得ること、一つの組織に勤務し、組織への忠誠や献身を大切にする。
4)	新しいものを創り出したり、障害を乗り越えたり、何かを達成することを大切にする。
5)	組織に縛られず自分のやり方で仕事を進めていくことを大切にする
6)	暮らしやすい社会の実現、救済、教育などに価値を見だし成し遂げることを大切にする。
7)	困難な問題の解決や手ごわい相手に打ち勝つことを大切にする。
8)	仕事だけでなく、家庭と両立することを大切にする。